

【九州初】アークノハラ、福岡県みやま市の自動運転社会実装に参加 一般車両と自動運転車両が走行する道に ICT LED 電光掲示板を設置。後続車両への周知を目的に。

株式会社アークノハラ（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：岡本 力、以下：アークノハラ）は、福岡県みやま市（市長：松嶋 盛人、以下：みやま市）で行われている「みやま市自動運転サービスⁱ」で、2021 年 7 月 19 日（月）から 9 月 30 日（木）までの期間、一般車と自動運転車の両方が走行する一般道路（以下、混在交通路）に自動運転車と連動して可変表示される「ICTⁱⁱ LED 電光掲示板（以下 ICT 電光掲示板）」を設置しました。「ICT 電光掲示板」に「低速車あり」と表示をすることで、後続車両に対し自動運転車両の走行を周知することを目的としたものです。

国土交通省は、2017 年度より高齢化が進行する中山間地域における人流・物流の確保のため、「道の駅」等を拠点とした自動運転サービスの実証実験を全国 18 箇所で行っています。みやま市は選定された自治体のひとつで、自動運転サービス本格導入としては九州地方で初めてⁱⁱⁱです。



■左：見通しの悪いカーブ前の交差点に設置した「ICT LED 電光掲示板」、右：ICT LED 電光掲示板

道路側からのアプローチ | 混在交通路における自動運転車両走行の安全性向上

「ICT 電光掲示板」で後続車両に注意喚起

カーブが多い、見通しが悪いなど地域の特性を踏まえ、混在交通路で後続車両へ自動運転車両の走行を周知したいと考える場所に「ICT 電光掲示板」を設置しました。

設置箇所：見通しの悪いカーブ手前（1 か所）、交差点（1 か所）

表示内容：「低速車 あり」

期待される効果：当区間の制限速度は 40km/h です。低速度で走行する自動運転車両が見通しの悪いカーブ先にいる場合に、後続の一般車両に対し、自動運転車両の走行をお知らせします。



ICT 電光掲示板の概要

アークノハラは、2018 年より複数参加した自動運転など次世代モビリティに関する実証実験^{iv}から、道路空間の安全確保のため、道路側からの安全対策を補完する必要があると考えています。

「ICT 電光掲示板」は、場所をとらず文字が見えやすい、通信・遠隔操作等によりリアルタイムな表示が可能であることが最大の特徴です。通学路における注意喚起への応用、MaaS を想定した情報告知板などへの横展開も視野に入れています。

ICT LED 電光掲示板について

主な仕様サイズ	小型：幅270mm、高さ1150mm 中型：幅400mm、高さ1300mm
表示面サイズ	小型：幅192mm、高さ768mm 中型：幅320mm、高さ960mm
LED モジュール	屋外デジタルサイネージ用。RGBフルカラー
ICT機能	無線を使ったインターネット通信可。遠隔からの指示により、表示内容の切り替え可。
電源	AC100V商用電源、ソーラパネル+バッテリー駆動可。（※表示内容および設置条件によります）
取付・設置方法	Φ60.5mm 単柱取付可、ガードレール共架可、金属バンド使用で大口径の柱取付可、柱がない場合に備えて専用架台あり。

社会実装の概要

業務名	「戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）第2期／自動運転（システムとサービスの拡張）／地方部における自動運転サービスの社会実装の実現並びにその恒久的実施に係る調査研究」
発注者	国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構
受託者	「地方部における自動運転サービスの社会実装の実現並びにその恒久的実施に係る調査研究」コンソーシアム
コンソーシアムの主幹	一般財団法人道路新産業開発機構
アークノハラの受託先	みやま市を担当する支援コンサルタントのパシフィックコンサルタンツ株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役 社長執行役員：重永 智之）
目的	1. 自動運転サービスの恒久的実施に向けて、限定地域で開始している自動運転サービスを、全国の複数地域に社会実装を実現すること 2. 社会実装初期において、地域の社会課題を解決しつつ、各種実証実験において共通課題とされてきた走行空間の確保解決策等を横展開し、事業として軌道に乗るための方策を検討すること
自動運転車の走行期間	2021年7月19日(月)から
詳細	https://www.city.miyama.lg.jp/s006/kurashi/140/jidouunten.html （みやま市ホームページ）

株式会社アークノハラについて

株式会社アークノハラは、「安心」「安全」「快適」な街づくりを合い言葉に、道路標識や視線誘導標、歩行者用観光案内標識などのサイン、ガードレール・遮音壁などの安全施設製品について、設計～製造～施工の一環したネットワークを構築してまいりました。これからも交通事業の発展及び環境整備の拡充と、安心安全な街づくりに貢献します。<https://arc-nohara.co.jp/>

弊社は、野原ホールディングスを始めとする野原グループ内企業です。



【本案件に関する問合せ先】

株式会社アークノハラ
技術本部 開発技術部 スマートモビリティ開発室（担当：安田）
TEL：03-3357-2442

【報道関係者からの問合せ先】

野原ホールディングス株式会社
経営企画部（担当：齋藤）
e-mail: nhrpreso@nohara-inc.co.jp

- i 「みやま市自動運転サービス」は、2021年7月19日(月)から社会実装として運行しています。
- ii ICT（情報通信技術）とは、Information and Communication Technology の略語。通信技術（IT/Information Technology）を使って広がる、人とインターネット、人と人がつながる技術の総称をいいます。
- iii 国内における自動運転サービスの本格導入について、秋田県北秋田郡上小阿仁村、滋賀県東近江市黄和田町に次いで、みやま市は全国3例目、九州地方で初です。
- iv アークノハラこれまでの技術協力について https://arc-nohara.co.jp/products/new_pickup/autonomous-car.html（アークノハラ「次世代モビリティへの貢献」ホームページ）